

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	雇用促進事業			会計	款	項	目	大	小
				01	05	01	01	01	01
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	商工振興課				
施策	5-3	誰でもが安心して働ける環境・基盤づくり		主管課長	渋谷 俊之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	事業主、就労者、求職者	意図	就労の安定、雇用の促進、労働者の健康増進
事業内容	就労意欲の高揚及び就職能力のスキルアップを目的として、就労支援情報の提供やセミナー等を行っている。			
事業開始から現在までの状況変化	ハローワーク松戸管内の有効求人倍率は改善傾向が見られるものの、雇用情勢は依然厳しい状況が続いており、雇用促進への対策が求められる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	ジョブサポート流山の年間利用者数	4,459	4,177	3,529	人	↑↑↑
②	ジョブサポート流山の利用者の就職率	15.10	16.35	18.53	%	↑↑↑	就職者数/求人紹介者数
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

- ・松戸公共職業安定所雇用促進協力会の構成員として、労働者の福祉向上と地域雇用の促進に努めた。
- ・臨時職員を1名配置し、各種労政事務及び出先機関との円滑な事務連絡を勧めた。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,576,129	1,588,502	1,514,671
事業費(b)(円)	1,221,689	1,241,712	1,173,531
うち一般財源	1,221,689	1,241,712	1,173,531
職員給与費(c)(円)	354,440	346,790	341,140
人役・職員(人)	0.05	0.05	0.05
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.01	0.01	0.01
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	市が実施する就職個別相談や各種セミナーと連携し、未就労者へのサポートに努める。	③取組における課題(Check)	ジョブサポート流山の利用者の減少は、有効求人倍率の上昇によるものと考察できる。また、求職者数は若年者よりも中高年者数が増えている。
②H30に実施した取組(Do)	・ハローワークと連携による地域職業相談室の円滑な運営に努めた。 ・各種就職支援セミナーの開催や高齢者向けの仕事説明会を開催した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	これまでの支援に加え、中高年齢者の特に就職氷河期世代向けのセミナーや就労支援サポートに努める。